

# ふるさとを探して

八千代市内のほぼ中央を南から北に流れる新川。新川は、人工的に印旛沼と東京湾をつなぎ、周辺地域への水害を防ぐ目的で作られた河川です。そんな新川の周辺では、八千代の代表的な農産物である梨や稲作などの農業風景、伝統文化である神楽で有名な七百餘所神社など、『ふるさと』を感じる事が出来ます。

今回のウォークは、新川沿いを中心にふるさとを探す13.7kmのコースを歩きます。



さかさみずばし  
②逆水橋



新川沿いの風景



ちっししみずせんげんじんじや  
③乳清水浅間神社

乳清水という湧き水があり、その水で粥を作って産婦が食べると湧き出るように乳が出たといわれています。



よなもとちやうふくじ  
④米本長福寺

米本城の城主であった村上氏の菩提寺といわれ、村上綱清の墓と伝えられる市指定文化財があります。



しちひやくよしょじんじや  
⑤七百餘所神社

市指定文化財である村上の神楽を行う神社で、神社名前の由来には700という数字に係る説があります。



しょうかくいん  
⑥正覚院

県指定文化財である釈迦如来立像が祭られており、もともとは武士の館でした。



# 東葉健康ウォーク

～ふるさとを探して～

コース  
MAP